



2014年1月14日

公開書簡 「アスクル紙製品に関する調達方針」の実施確認要望について

アスクル株式会社  
代表取締役 兼 CEO  
岩田彰一郎様

拝啓

貴下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

熱帯林行動ネットワーク (JATAN) は、他団体とともに、アスクル社の紙の調達方針の適正な実施について、数年に渡り会合を続けてきました。会合では繰り返し、アスクル社のコピー用紙の原料供給地において、現実に地域住民との土地紛争事例があることから調達方針の実施確認が十分に行われていないことなどを指摘し、その改善を求めてきました。

紙製品の調達方針で示されている基準については、土地紛争の事実や植林地への転換年を把握されていないなど、原料サプライヤー段階での情報確認が行われていないことが判明しました。原料の調達で優先的に利用されているという LEI 認証材ですが、LEI 認証が、現地住民との土地をめぐる紛争・軋轢の問題を認証取得上問題とせず、近年に行われた土地転換を許容しているなど、非常に基準の緩い認証制度であることから、アスクル社の調達基準を満たすには不十分な認証であることを指摘させていただきました。

しかし会合ではこちらの主張を理解していただけず、依然として LEI 認証を利用されつづけているために結果として、いまだ調達方針で示されている内容が実施されていません。さらに、調達方針を実現するための独立した監査や検証もアスクル社は結局実施されませんでした。

原料サプライヤーレベルでの情報掌握が徹底されておらず、原料供給地での土地紛争という事実の軽視による方針の不遵守を認められようともせず、さらに独立した監査や検証・確認作業を留保される一方で、APP 社からの購入を継続されるというご判断には、残念ながら、アスクル社の企業の社会的責任への姿勢がはなはだ不十分と不信感を抱かざるを得ません。

こうしたことから JATAN ではウェブサイト等を通して、APP 社製のインドネシア産コピー用紙が、アスクル社が行われている宣伝内容とは異なり、持続可能な原料由来の製品などではなく、むしろその原料調達方法は現地の自然環境や社会に与える影響において大きな問題を抱えていることを広く消費者などに伝えていくこととしました。

今後アスクル社として、調達方針が十分に実施されていないという事実を厳粛に受け止めていただき、御社のウェブサイト等で方針の不遵守を認めていただくよう要望いたします。さらに、方針に本当に合致するような調達の改善に向けて真摯に取り組まれることをお願いする次第です。

敬具

熱帯林行動ネットワーク (JATAN)  
代表 原田 公  
〒160-5097 新宿区新宿 1-23-16 3F  
TEL 03-5269-5097  
Email info@jatan.org